



第3期プログラムガイド

Ver.1 (2021年2月22日更新)

ゼロからツクルを学ぶ / 774 (NANASHI)
主催：認定NPO法人ETIC. 協力：MTA JAPAN

【オンライン型プログラム】

Index 索引

プログラム概要/特徴・・・3

CURRICULUM・・・6

- 概要
- 学びの全体像（概要）
- ベースとなる価値観
- スケジュール
- コンテンツ

CURRICULUM CAST・・・21

- スペシャルサポーター
- 774 コーディネーター&事務局

Application details・・・26

- 参加までの流れ
- 募集要項
- 774-FIELD LEARNING-が目指すもの

Message & Appendix・・・32

- 事務局からのメッセージ
- 認定NPO法人ETIC.について



774は、スペイン・バスクに本拠地を置く起業家育成機関 MTA JAPAN (モンドラゴンチームアカデミージャパン)と、認定NPO法人ETIC.が共同で立ち上げたプログラムです。

「実践」と「学習」を同時に展開する(Learning by doing)、世界で今注目の学習モデルのもと、“正解”や“知識”を教える場、先生が存在を前提とした場とは一線を画したカリキュラムを持ちます。

修了要件は、チームでプロダクト・サービスをつくり一定の売上を稼ぐこと。

2ヶ月のプログラムでは、初めて出会う参加者同士でチームを組み、何も無いところからプロダクトやサービスを生み出し、それを実際に売っていきます(Learning Journey※)。

オンラインでベースとなる全てのコンテンツを受け、各チーム毎に必要なに応じてフィールドに飛び出し、「ゼロからツクル」を学んでいきます。

このプロセスを通じ、0から1を生み出す力、
チームでより大きなインパクトを生み出せる力を培い、また、まだ見ぬ
自分の可能性を発見し、自分の資質や強みを高めていくのが774です。

※ Learning Journeyとは、様々な地域や国でビジネスを起こしたり、自分の商品やサービスを
売りながら必要な学びを得る学習モデルのことを言います。

名無し歓迎



774 参加に特別な実績や明確な志・夢は必要なし。このプログラムを通じて、自分の資質や強みを再発見し、なりたい自分へと進化してください。

世界基準の学習モデル



個人よりもチームで大きなビジョンを達成する人材の育成を世界8ヵ国で展開中のMTAと、1500名を超えるリーダーを輩出するETIC.の連携企画。学習と実践を同時かつ、チームで行う、世界で注目の学習モデル。

教室は地球全土



提供する学習コンテンツは全てオンライン。地球上どこからでも参加が可能。時空やお互いの違いを超え、チームでプロダクト・サービスを開発し、一定額稼ぐことが修了要件です。

「ゼロからツクル」を学ぶ



「チーム」「プロダクト・サービス」「顧客・市場」を創造するための確かな実践力や、必要となる様々なスキル・知識の獲得を支援します。今いる場所や組織にとどまらず、世界中の人たちと、新たな価値や仕事をつくっていける力をあなたに。

オンライン市場への出店



つくったモノやコトを、多くの人が行き交う実際の市場（いちば）で売ってみる中で、作ったプロダクト、サービスにお金を払ってくれる顧客は誰なのか？、フィードバックをもとにどのように商品を改良するか？等のビジネス感覚を実践的に体得します。

ラーニングジャーニー奨励金



各期における実践終了後、代表チームに選出されたチームには、MTAのあるスペイン・バスクへの訪問を含むラーニングジャーニーに対し、航空券費用と販促費で30万円を支給します。

これまでに多数のチェンジメーカーの育成・輩出をしてきた認定NPO法人ETIC.とスペイン・バスクを拠点に世界中にチームアントレプレナーを輩出するMTA Japanが連携し、本プログラムをプロデュースしています。

認定NPO法人ETIC.(エティック)



モンドラゴン・チーム・アカデミー



▼参考Link：<https://www.etic.or.jp/>

創造的で活力に溢れ、人々が支え合い、課題が自律的に解決されていく社会・地域の実現を目指し、1993年にETIC.は設立されました。ETICは、実践型インターンシップや起業家支援プログラム、先輩起業家や事業パートナーと繋がるコミュニティ、キャリアに関する情報発信などの機会提供を行なっています。これまでに、1500名を超える起業家を輩出し、8800名の若者がETIC.のプログラムに参加しています。アントレプレナーシップ（起業家精神）に溢れる人材がより多く育まれるよう、広い世代に向けたプロジェクトに取り組んでいます。

<ETIC.が運営する主なプログラム・メディア>

- TOKYO STARTUP GATEWAY
- PLAY !
- 新・夜市朝市 -その暮らし、試してみよう-
- MAKERS UNIVERSITY
- 社会起業塾イニシアチブ
- LOCAL VENTURE LAB
- ツクルゼ未来、行動系WEBマガジン DRIVE

▼参考Link：<https://mtaworld.com/>

世界でも、美食の町として名高いスペイン・バスクにあるモンドラゴンチームアカデミー、通称MTAは、2008年に設立され、個人よりもチームで大きなビジョンを達成する起業家的人材“チームアントレプレナー”を多く輩出している大学です。

MTAは、学生が入学直後からチームで会社を設立し一定額稼ぐことが進学要件であり、学生が様々な国・地域へ旅をしてビジネスを起こしていく「ラーニングジャーニー」を大きな特徴としています。設立から10年で500名以上の起業家と30社以上の会社がMTAから生まれ、現在は、スペインのみならず、サンフランシスコ、インド、上海、ベルリン、メキシコにも、MTA流の超実践的プログラムが展開され、世界各地に多くのチームアントレプレナーを輩出しています。

CURRICULUM

カリキュラム

CURRICULUM (概要)

プロダクトも、チームも、すべてがナナシ。
さあ、「無」からはじめよう。

774は、

- ①「無」から価値を創り出すこと、
- ②「無」から顧客をつくること、
- ③「無」からチームをつくり、インパクトを最大化していくこと、

主にこの3つについて、実践と学習を効果的に展開しながら学ぶ、
オンライン型プログラムです。

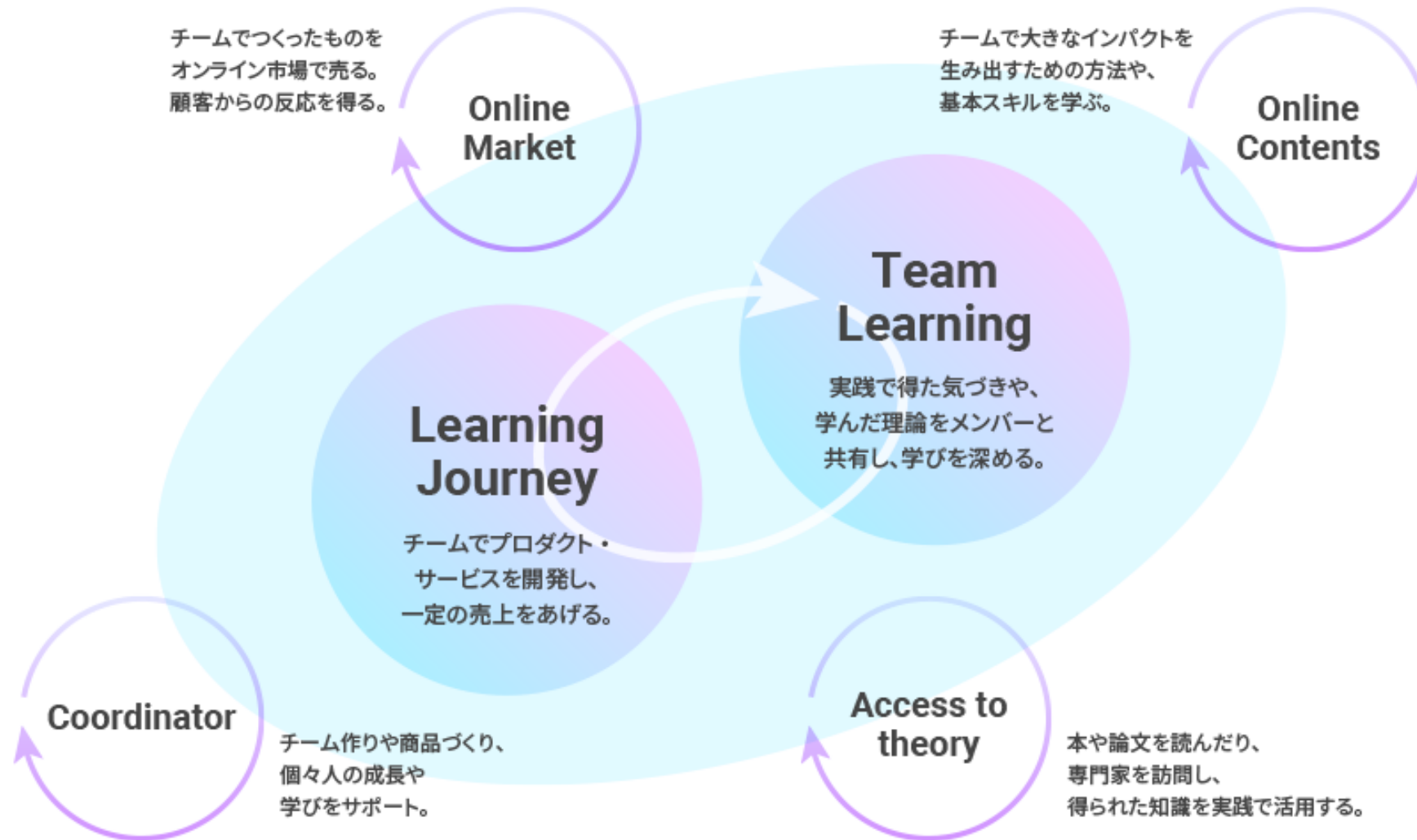
初めて出会う参加者同士でつくったチームで、プロダクト・サービスを
0から生み出し、顧客を開拓し、15万円の売上実績をつくっていきます。

オンラインで、ベースとなる全てのコンテンツを受け、
必要に応じてチームでフィールドに飛び出し、
実践を通じて「ゼロからツクル」を学んでいきます。



CURRICULUM (学びの全体像)

様々な個性を持つ他者と共に 0 から価値を生み出す実践を通じて、Best Versionな自分と出会う。



1. 個々の違い、空間すら超え、0 から生み出せ

“個人よりもチームで大きなインパクトを実現できる人材”（チームアントレプレナー）としての能力を高めていくためのカリキュラム提供を重視しています。

プログラム開始時、参加者は初めて会ったメンバーと3人1組のチームを形成し、その後、すべてのアクティビティをチームで行っていきます。

期間中、参加者全員が、チームアントレプレナーとして、多様な個性を掛け算して、新たな価値・ライフスタイル・文化などの未来を”ツクル人”としての道を歩き始めます。

住む場所、働く場所、そしてメンバーさえも、ますます自由になっていくこれから。物理的に離れた地域や国の人たちと協働や共創するスキルも必須となるでしょう。その中で、いかにチームで0から何かを生み出すか？
774では、オンライン環境を駆使して大いにトライをします。

2. ラーニングジャーニー

実践すること、創造することは、あなたにとって最高の学習であり、
774は、あなたが実践の中でより良く学ぶ環境を提供することを重視しています。

3人1組のチームをつくり、0からプロダクト・サービスを生み出し、
3ヶ月間で20万円の売上実績をあげる「ラーニングジャーニー」がベースであり、
774では欠かすことのできない重要なカリキュラムです。

Doing without Knowing.

自分のしようとしていることがはっきりとはわからないけれども、まずはやってみる。

774は、計画よりも実践することをあなたに求めています。

3. チームラーニング

各チーム毎に、自分たちのプロダクトやサービス、販売戦略、経営管理、チームでインパクトをより高めていく方法など、事業を運営する上での課題や問題について対話する中で、深い学びを得ていきます。

また時に、実践の中で得た気づきや、本から学んだ理論や教訓を他のメンバーと共有しながら、お互いに学び合い、高め合っています。

チームメンバー同士、そして、チームの垣根を超えた対話こそが、自分ならではの学びを得る鍵であり、あなたの可能性を発見することに繋がるでしょう。

4. Learning by Doing

実践と学びを同時展開する考え(Learning by Doing)が根底に流れています。
実践をもとに理論へ。学んだ理論を実践へ。

774には一般的な意味での講義はありませんが、自分に必要な本や論文を読んだり、
専門家を訪問するなどして得られた理論や知識を実践で即活用することを求めます。

理論や知識は、実践で即活用し、その成果や使用方法を振り返ることで、
着実にあなたの血となり肉となっていくでしょう。

5. コーディネーター

画一的に知識を与えるティーチングではなく、
それぞれの個性や状況に合った支援や助言を行うコーディネーションを重視します。

774では、“正解”や”知識”を教える教師の代わりに、コーディネーターが
それぞれの専門領域と経験から、あなたと、あなたのチームの進化・成長を支援。

あなたやチームの状態を映し出す鏡となり、自己理解やチーム理解を促進し、
また時には、課題や壁を突破するためのアイデアを練るパートナーとなるなどして、
各チームのラーニングジャーニーに伴走していきます。

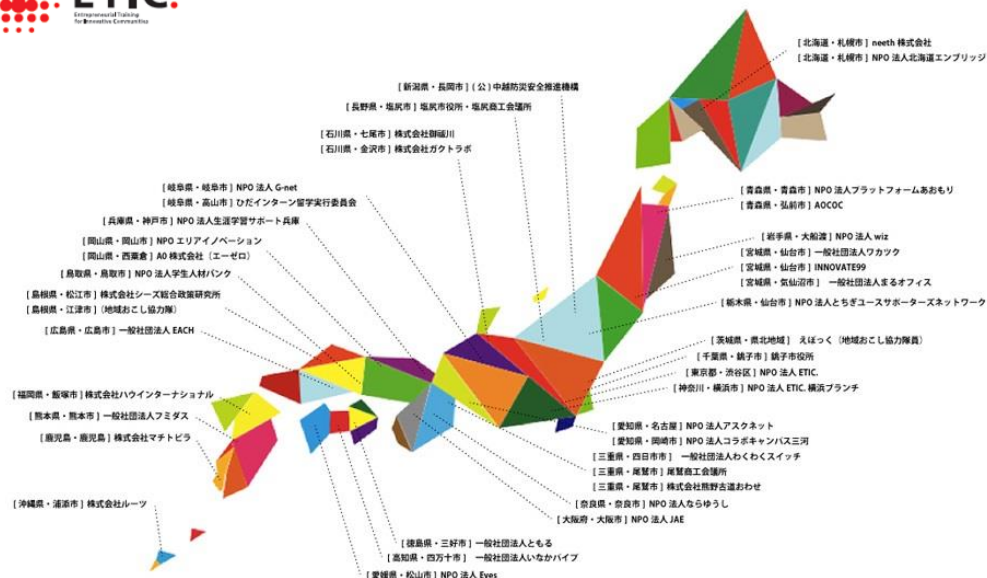
6. コミュニティ

774は“いつか”ではなく“今”、世界を変えること、新しい未来を実現すること、その沸々とした想いを形にするための準備を開始する若者のコミュニティ。

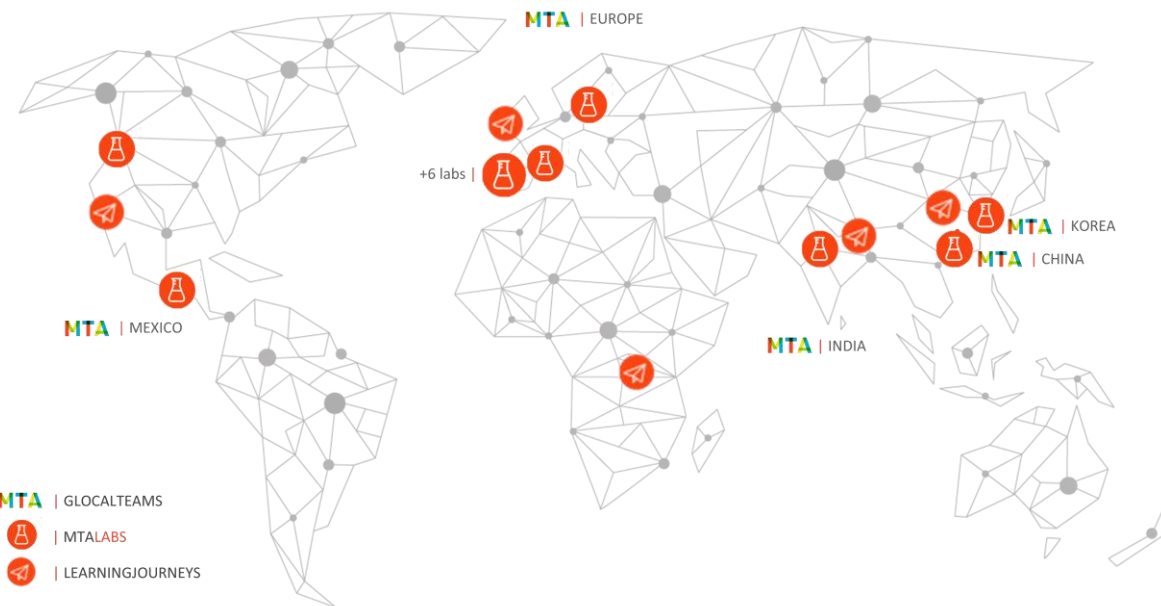
774でのチャレンジを通して、個性豊かな他のメンバーたちと学び合い、切磋琢磨することで、774修了後も長く続いていく、相互支援の関係性を築いてもらえたらと思います。

また、ETIC.やMTAのプログラムに過去参加してきた先輩たちや、一歩先行くメンター、様々なセクターの人たちが、日本、そして、世界で、あなたと共に新しい世界を生み出していける時を心待ちにしています。

日本、世界に広がるETIC.&MTAコミュニティ

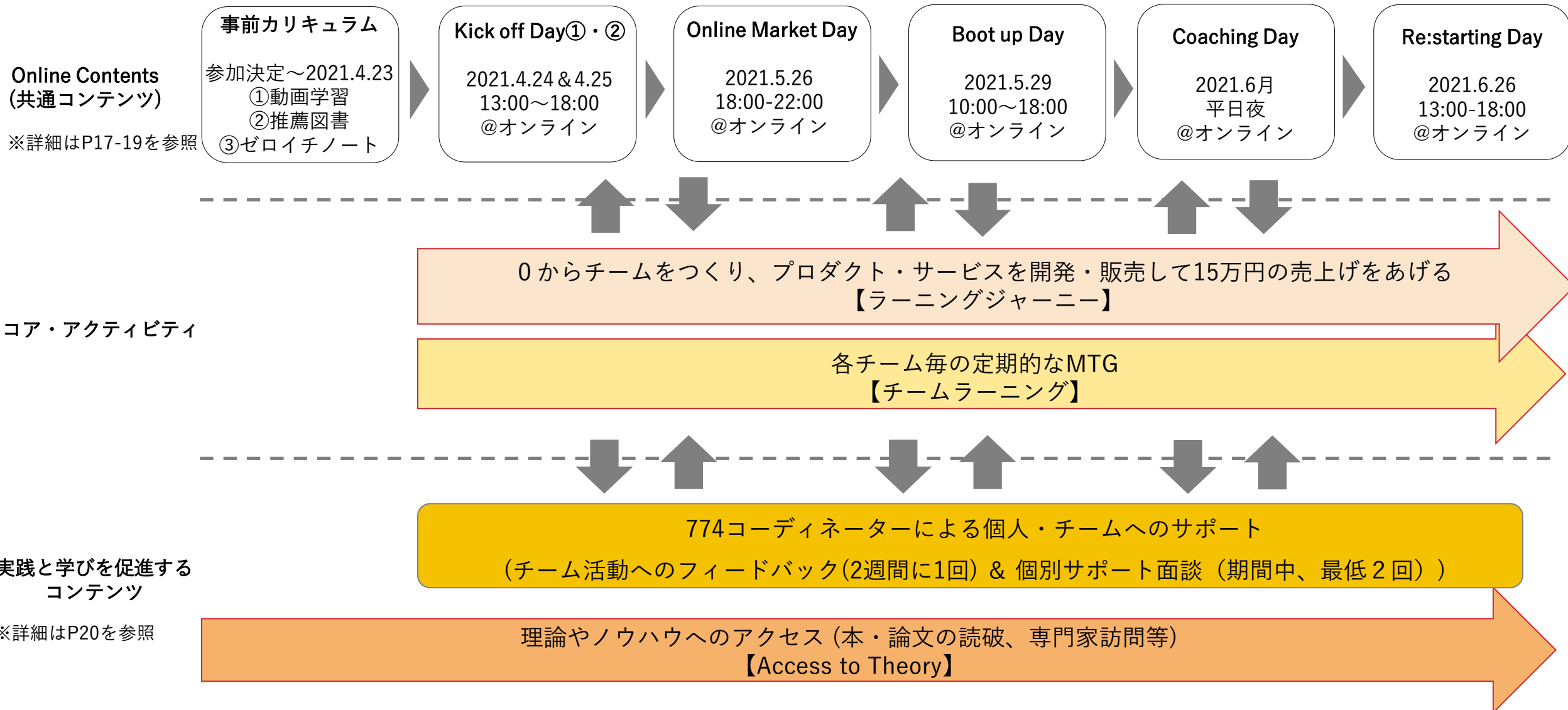


これまでに1500名を超える起業家を輩出。一方で、日本各地で挑戦の機会を創出し、新しい仕事や経済を生み出すコーディネート機関の発掘・育成にも注力し、全国に挑戦を支える生態系づくりを展開しています。



現在では、スペインをはじめ、その他、サンフランシスコ、インド、上海、ベルリン、メキシコ、韓国など、世界各地でチームアントレプレナーを輩出する超実践的プログラムを展開しています。

CURRICULUM (スケジュール)



★社会情勢を踏まえつつ、各チームで話し合い、必要に応じてリアルな機会をつくってラーニングジャーニーを展開することについては制限しません。

CURRICULUM (オンラインコンテンツ概要)

事前カリキュラム

参加決定～2021.4.23

個別面談を経て774への参加が正式に決定した方から、個別に事前カリキュラム進めてきます。

[1] オンデマンド学習

ラーニングジャーニーとチームラーニングを進めるポイントや、商品、顧客、チームをゼロからつくる上での土台となるスキルや理論について、動画学習で掴んでいきます(15～20分の動画を6本程度視聴)。

[2] 推薦図書(2冊)

774事務局が推薦する書籍を読み、事業立上げや起業家精神、リーダーシップ等への理解を深めていきます。

[3] ゼロイチノート

商品、顧客、チームをゼロからつくるポイントについて、動画学習と推薦図書の読み込みを通じて見出した”自分の考え”を簡単にまとめ、実践開始に備えます。

→さらなる詳細はP19を参照ください。

Kick off Day①

2021.4.24
13:00～18:00
@オンライン

いよいよ、2ヶ月の実践がスタート。2ヶ月間、共に学び、高め合う第3期の仲間、チームメンバーと初めて対面し、チームビルディングを進めていきます。

また、初日は、世界のビジネススクールでも取り入れられているケーススタディの手法を活用し、商品、顧客、チームを0から生み出すポイントや、チームで大きな価値を生み出すポイントについて、実践的に学んでいきます。

[1] チェックイン&チーム発表

[2] Create team impact ① (チームビルディングを実践する)

[3] Create team impact ② (ケーススタディでゼロイチを学ぶ)

<セッション担当>
774コーディネーター

Kick off Day②

2021.4.25
13:00～18:00
@オンライン

「価値を生み出せる良いチームの条件とは？」という問いに向き合いながら、チーム運営の根幹となるチーム憲章をまとめ、実際に商品開発を進めていきます。

また、スペインと中継を繋ぎ、MTAコーチ陣によるレクチャーやコーチングセッションを行い、商品開発やチーム作りのさらなるヒントを掴みます。

[4] Create team impact ③ (良いチームとは何かを深める)

[5] Create team impact ④ (ステップに沿い商品開発を進める)

[6] Team Learning by creating and experimenting

<セッション担当>

[4][5] 774コーディネーター

[6] MTA Japan Founder
JAM GLOBAL代表取締役社長
ジョン・アンデル・ムサタディ氏

Online Market Day

2021.5.26
18:00-22:00
@オンライン

[7] Online Market出店

キックオフから約1か月。各チームでつくり上げてきたプロダクト・サービスを売ることができるオンラインマーケットイベントです。

各チームはこの時点で提供できる価値や機能をもとにプロダクト、サービスを形にし、値段を付け、マーケットに出店します。

提供するものは一旦ラフでもOK。顧客に商品を提供する中で、反応を確かめ、自分たちの提供するものをブラッシュアップする一日としても活用してください。

CURRICULUM (オンラインコンテンツ概要)

Boot up Day

2021.5.29
10:00~18:00
@オンライン

Coaching Day

2021.6月
平日夜
@オンライン

Re:starting Day

2021.6.26
13:00-18:00
@オンライン

ゼロから価値を生み出すためには、実践した結果や失敗からいかにうまく学習し、次のアクションをデザインし続けられる力が鍵となります。

Bootup dayでは、この力やスキルを実践的に学んでいきながら、残り1ヶ月間の商品づくりや販売戦略を磨き、チームパフォーマンスをさらに高めていきます。

[8] Create team impact ⑤
(行動の結果と過程を振り返る力)

[9] Create team impact ⑥
(商品やチームの状態を捉える力)

[10] Create team impact ⑦
(行動計画や戦略を再構築する力)

<セッション担当>
774コーディネーター

[11] コーチング・セッション

ここからさらに売上げを伸ばしていくためにマーケティングや販売戦略をゲストコーチから学んでいきます。

ゲストコーチの助言をもとに、商品開発や販売戦略、チーム運営の方法をより洗練させていく1日です。

※Coaching dayのみ任意参加のコンテンツとなります。チームメンバーと相談し、出欠を決めてください。

<セッション担当>
MTAコーチ

各チームがラーニングジャーニーの経験を持ち寄り、共有し合うことで、学びを創出するチームラーニング・セッションを行います。「ゼロからイチをつくる」「パフォーマンスの高いチームづくり」等の本質を総まとめし、それぞれのネクストステップを導き出す1日としてください。

また、2か月の活動結果をもとに、ラーニングジャーニー海外編の権利を手にする代表チームを選出します。

[12] Team Learning Session
(経験と学びを棚卸しする)

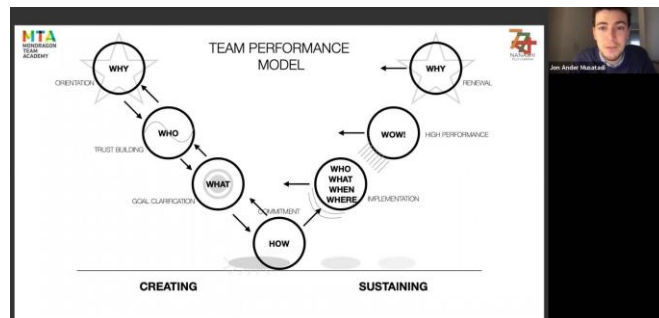
[13] 代表チーム選出会議

[14] Discovery Session
(ゼロイチの本質を掴む)

<セッション担当>
774コーディネーター

CURRICULUM (オンラインコンテンツ – 事前カリキュラム)

【STEP1-1】 オンデマンド学習



MTAとETIC.によるオリジナル学習動画を視聴し、商品、顧客、チームを0からつくっていく上でのヒントを掴み、実践スタートに向けた準備を行っていきましょう。

▼学習タイトル (一部)

- ・ラーニングジャーニーの歩き方 (世界各地でラーニングジャーニーを展開するMTA現役学生、MTA卒業起業家のケースからゼロイチのポイントを学ぶ)
- ・チームパフォーマンスモデル ～価値を生み出すチームをつくる7ステップ～
- ・リーンキャンバス ～ビジネスモデルの仮説検証サイクルをまわす～ 他

【STEP1-2】 推薦図書 (774の本棚)



774の事務局を務めるETIC.クリエイティブシティチームでは、事業やチームづくりに関する推薦図書リストを監修しています。その中から、774コーディネーターが774プログラムに合わせて厳選した書籍を「774の本棚」としてリスト化したものを提供しますので、その中から2冊を選び、0から1を生み出すのに役立つ知識や理論の学習を進めましょう。

※事前カリキュラムで読む2冊の本は、774の本棚に掲載されているもの以外から選択していただいても構いません。

【STEP2】 ゼロイチノートの作成

774期間中、実践を通じてより多くの学びを得ていくためにも、0から1を生み出すための重要ポイントについて、自分なりの考えや仮説を持って、ラーニングジャーニーに臨むことがとても効果的です。STEP1で得たことをもとに自分の考えをまとめ、実践期間中に試してみたいことをまとめておきましょう。まとめた内容は、Kick off dayで同期メンバーと共有し合い、集合知を生み出すために使用していきます。また、ゼロイチノートは、774での実践をもとにして最後に更新していきます。リアルな経験に基づいて更新したノート内容は、あなたにとってかけがえのない財産となっていくでしょう。(フォーマットは事務局より提供)

○パーソナリティ & ストレngth診断

事務局が用意する自己診断ツールを使い、あなたのパーソナリティや資質を明らかにしていきます。その診断結果は、774期間中のチーム構成に反映されると共に、チームメンバー同士の対話の土壌として活用していきます。

○774コーディネーターによる個人・チームへのサポート

774コーディネーターは、あなたやチームの状態を映し出す鏡、壁打ち役、そして、時に一緒にネクストステップや戦略を練るパートナー的存在です。

ベースとして2週間に一度、チーム毎に、担当コーディネーターとの面談を行うことで、その時々課題や壁を突破するためのフィードバックやインプットを担当コーディネーターから受けることができます。また、個別サポート面談(期間中、最低2回)を実施したり、個人やチームの状況に応じたサポートを行うなど、それぞれのラーニングジャーニーとチームラーニングを支援していきます。

○Access to Theory

事業・アイデア創造や、マーケティング・販売戦略、経営管理、リーダーシップなど、本や論文、専門家へアクセスすることを通じて、各段階ごとに自分に必要な理論やスキルを獲得してください。実践が先行し、実践がベースにあるからこそ、理論や知識にアクセスすることでの学びは深まります。得られた知識を実践で即活用し、ナレッジを着実に体得していきます。

○774 OBOG相談会、ケーススタディ等の任意参加プログラムの実施

774期間中には、774OBOGへの相談会や、朝や夜の時間を使った勉強会など、これまでに紹介したもの以外にも様々なコンテンツを実施していきます。また、各期において様々な形で、同期メンバー同士のコミュニティ活動が行われています。チームは違えど、同じ期の参加者全員でチームであるという価値観のもと、他の参加者とも自由に学びの機会を生み出していきましょう。

CURRICULUM CAST

サポーター＆コーディネーター

CURRICULUM CAST (スペシャルサポーター from MTA)

「Learning by Doing」「Team Learning」「Team Entrepreneur」といった考え方にに基づき、成果やインパクトを生み出せるチームの作り方、チームメンバーとの関わりを通じて個人としても成長するための在り方・学び方などについて、MTAで実際に行われているセッションやチームコーチング等をスペインからオンラインで実施いただきます。



ホセ・マリ・ルザラガ氏 Mondragon Team Academy Co-Founder / Ashoka Fellow

急速にグローバル化した世界で人々を繋ぐという思いのもと、旅行会社の立ち上げや、所属する学部内での起業家組合の発足、“Get carried away”と言われる飲酒運転を防止する運転サービスの開発など、起業家として数多くの実績を重ねる。しかし、地域に根ざした国際的なチェンジメーカーとしての理念を定められず、もっと地域に寄り添った活動を行いながら、地域が抱える問題を研究しようとインドへ。そこで、“インドで起きた問題をスペイン出身の自分が解決できた。”という経験から、世界の繋がりが生み出すパワーを実感。その体験から得た学びを、モンドラゴン組合に置き換えて、研究を行い、それから4年の月日を経て、「地域の商業や経済的規模は拡大しているにも関わらず、地域同士の協力体制や、社会的利益はそれほどまでに成長していないこと」を発見する。そこで、組織にチームプレナー教育を浸透させることを目的に、モンドラゴン大学と提携し、MTAを設立。社会起業家を支援する世界的なネットワーク組織「ASHOKA(アショカ)」にフェローにも選出されている。

<https://www.ashoka.org/en-US/fellow/jose-maria-luzarraga-monasterio>



ジョン・アンデル・ムサタディ氏 MTA Japan Founder / JAM Global 代表取締役社長

MTAでの4年間で、プログラムの一環である「ラーニングジャーニー」を通じ、フィンランド、シリコンバレー、インド、そして中国で自身のプロジェクトの開発を進めながら、MTA流起業メソッドを学ぶ。MTA卒業後、自身の会社を立ち上げ。再び日本への渡航を決め、再来日を機にJAM Global(<http://jamglobal.net/jp/>)の活動始める。これまでに、数々の日本の大学で、日本とバスクの経済関係や政治関係の発展に努める活動を、「チームプレナーワークショップ」という形で行っている。現在の目標は、日本の学生に向けて、MTA流起業メソッドを学ぶ機会を提供すること。2020年9月までにMTA研究所のプロトタイプ立ち上げを計画している。

各チームが実現したい目標を達成できるよう、また、参加者の皆さんが個人として力強く進化・成長を遂げられるように、コーディネーターはそれぞれの専門性や立場から様々な支援を行います。“正解”や“知識”を教えるという意味での先生のいない774において、各チームのラーニングジャーニーとチームラーニングを後押ししていきます。



石野 宏明 (774 コーディネーター)

「抜かすならコシを、ハズすならアゴを、抱えるならハラを抱えよう」をビジョンに、陸では774のような取り組みを、水中では「SUICHU GO! (<https://suichu.jp/>)」を通じて水中の不思議や発見を探究しています。1988年、千葉県市川市にて4000gを超える巨大児として生まれ、育ち、文教大学人間科学部へ入学。2011年に無事に卒業し、企業やNPOを経て現在に至る。17歳の時に多くのカッコイイ大人から学んだ「世界を変える」というperspectiveでたくさんの方々と様々な機会や物事と関わり合えて十数年、もれなくあらゆるすべての個人や組織・日常や物事にその起点があることを日々感じては胸を膨らませています。今回の774でも、皆さんと様々な可能性を見出していけることを心から楽しみにしています！

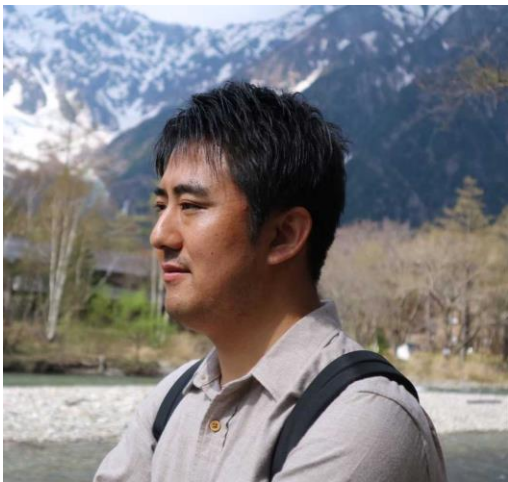
* Twitter: <https://twitter.com/suichuGO>



小泉 愛子 (774 コーディネーター)

1984年生まれ。大学在学中に一般財団法人生涯学習開発財団認定コーチ取得（当時最年少）2008年に人材系ベンチャーに参画。その後マーケティング会社への出向、新卒採用責任者、若者向け人材紹介新規事業責任者を経て2015年に当法人に参画。インパクト・ラボsupported by J.P. モルガン・チェース財団 プロジェクト事務局、創業支援アドバイザー等、ソーシャルベンチャー支援・インパクト創出を行う。

2017年より、大企業を中心とした含む13社で「意志ある挑戦が溢れる社会を創る」ことを目指し、個々がお互いに実現したい未来を変える意志とアイデアを共に行動し形にしていくコンソーシアム型のバーチャルカンパニーand beyond カンパニーの立ち上げ・運営事務局に従事。組織という枠組みを越え、大企業の意志ある個人の主体的な行動を促すための企画を推進。



関根 純 (774 コーディネーター)

1986年生まれ。中央大学法学部卒。住友林業（株）を退職後、2013年からETIC.に参画し、スタートアップや中小企業の事業開発、経営革新を目的とした実践型インターンのコーディネートを担当。2016年には、自身がコーディネートした案件が、全国250の事例の中で最も経営革新に寄与した事例として選出される。また一方で、起業を目指す若者を対象とする様々な研修、授業、プログラム、アクティブラーニング教材等を企画・開発。これまでに、横浜国立大学や早稲田大学等の授業や、起業家のアイデアを東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシー創出に繋げるアイデアソン等の企画・ファシリテーションを担当。近年は、世界の優れた取り組みや知見を日本の起業家的人材育成の現場に融合させることに力を入れる。現在、東京と長野県の北アルプス山麓で二拠点生活中。



中塚智恵 (774 コーディネーター)

1987年生まれ、2010年より理学療法士として医療・福祉に従事。『事業から障がいをなくしたい』と思い、2016年オーストラリアでソーシャルインクルージョンを探索。娯楽施設に対し多様なニーズへの改善提案、インクルーシブ社会推進機関らとイベントの企画・運営する。障がい当事者や同世代が進化を生み出していた起業に魅了され、現在に至る。新規福祉事業の企画支援を行いながら、マイノリティー当事者を巻き込んだ共創事業W Innovatorsを仕込み中。774-0期生でもあり、突如通訳を始めたことがきっかけで、774に参画。ゼロから挑戦するからこそ発見する個々の未知なる強みや、イリュージョンを楽しんでいきたいと思っています。



山崎 光彦 (774 コーディネーター)

1985年生まれ。日系企業勤務を経て、英国マンチェスタービジネススクールに留学。在学中にETIC.でインターンシップを経験し、「自らの意思で人生を切り拓いていく人を応援する」仕事は意義深く、尊いものだと感じる。このご縁をきっかけとして、2015年よりETIC.に参画。起業家の創業支援や企業とのプロジェクト開発、リサーチ業務を担当。



高橋 由衣 (事務局スタッフ)

Application details

募集要項

Entry (プログラム参加の流れ)

事前エントリー

まずは事前エントリー(名前・メールアドレス)を行っていただき、本エントリーフォームを取得ください。

本エントリー

本エントリーフォームに必要事項を記入するとともに、プログラムについての質問があればご入力ください。フォーム入力事項は、個別面談の参考情報として活用させていただきます。
応募締切：2021年3月29日（月）23:59

個別面談
(オンライン)

774事務局との個別面談で、プログラムへの期待値にズレがないかを確認していくと共に、774期間中の学びがより深まるように774をどう活用していくといいかについて774コーディネーターと話し合うステップです。最終的な参加判断は面談の上、行っていただくことが可能です。本エントリー後、数日以内にメールにて日程調整に関するご連絡を差し上げます。

プログラム参加

2021年4月24日(土)～6月26日(土)までの約2ヶ月間が、第3期のプログラム期間です。

プログラム修了

チームを存続させラーニングジャーニーを継続するもよし、解散するもよし、それぞれの道へと歩みを進めてください。

フォローアップ面談

プログラムの経験や学びをその後のキャリアやネクストステップに繋げていくために、コーディネーターと共に振り返りを行っていきます。

ラーニングジャーニー
(海外編)
※代表チームのみ

代表チームに選出された(3人)チームには、スペイン・バスクにあるMTAへの訪問を含むラーニングジャーニーに対しての航空券費用と販促費として30万円を補助します。なお、コロナウイルスの感染拡大が収まったタイミングに渡航することを条件とし、また、収束状況によって、航空券費用と販促費への補助とは異なる形で支給する場合があります。(ラーニングジャーニー海外編は、自分やチームの意思に基づいて実施するため、参加しないという選択も可能)

参加をご検討されている方で、ご応募前に個別に質問や相談をされたい場合には、事務局までお気軽にご連絡ください。

▼募集人数：

第3期プログラムへの参加者数は、24人前後を定員としています。

▼参加対象(例えば、こんな方におすすめ)：

- ・今はまだ定まっていなくても、この先の人生で何か新しい価値を生み出し突き進みたいという意欲がある方
(明確な事業アイデアや事業計画を持っていないでもOK)。
- ・自分の可能性を再発見し、資質や強みを最大限に活かして、将来、新しい価値を生み出す仕事をしていきたい方。
- ・国や地域、物理的に離れた場所にいることで生じる壁、また、個性や人種、バックグラウンドの違いなどを乗り越え、個性の異なる様々な他者と協働、共創し、世界や地域に対してインパクトある価値を生み出せるようになりたい方。
- ・チームづくり、チーム運営に課題を感じた経験のある方。
- ・プロダクトやサービス、プロジェクト、チームを0からつくった経験がまだなく、実践経験を積みたい方。
又は、経験はあるが、“ゼロからツクル”能力をさらに磨きたい方。
- ・これまで知識獲得や座学中心に起業や経営、事業開発を学んできたが、そのスタイルに限界を感じ始めている方。

▼参加条件：

- ・プログラムガイドをご確認いただき、プログラムのコンセプトや趣旨に沿ってご参加頂ける方。
また、他の参加者と積極的に関わり合いながら切磋琢磨し、学び合い、高め合っていく意思のある方。

- ・以下にある、全てのオンラインコンテンツ実施日への参加が可能であること
 - 4/24(土)13:00-18:00 Kick off Day①
 - 4/25(日)13:00-18:00 Kick off Day②
 - 5/26(水)18:00-22:00 Online Market Day
 - 5/29(土)10:00-18:00 Boot up Day
 - 6/26(土)13:00-18:00 Re:starting Day

※6月に開催するCoaching dayは、任意参加のコンテンツとなります。チームメンバーと相談し、出欠を決めてください。

- ・カリキュラムやチームミーティングは、基本的にオンラインで行われるため、プログラム期間中に安定したネット環境をご用意できること

Application details (募集要項)

▼参加費：

- ・一般価格：180,000円(税込)
- ・学割価格：
 - 大学生・専門学校生：100,000円(税込)
 - 高校生：50,000円(税込)

●参加費に含まれるもの：

- ・全てのオンラインコンテンツ含む、774の全カリキュラムへの参加
- ・slackやzoom等のオンラインコミュニケーションツールの使用(774事務局より無償提供)
- ・その他、774事務局が追加提供する任意参加のコンテンツへの参加

●参加費に含まれないもの：

- ・プログラム期間中に発生する交通費や食事代、通信費
- ・事前カリキュラムの書籍代(購入する場合)

※期間中にチームであげた売上は、全てチームのものとなります。使い道や分配方法についても、各チームで決めることができます。

※15歳～19歳で学校に通っていない方(ex.ギャップイヤー中、浪人中など)は、上記学割価格の対象となります。

※プログラム参加確定後、Kick off Day前の指定日までに、参加費の一部or全額(選択可能)のお支払いをお願い致します。
個々の状況に応じて、支払いの時期や分割払いなど柔軟に対応することも可能ですので、面談時にご遠慮なくご相談ください。

※各期の実践終了後、代表チームに選出されたチームには、MTAのあるスペイン・バスクへの訪問を含むラーニングジャーニーに対し、航空券費用と販促費で30万円を支給します。なお、バスクへの訪問は、コロナウイルスの感染拡大が収まったタイミングに渡航することを条件とし、また、収束状況によって、航空券費用と販促費への補助とは異なる形で支給する場合があります。(ラーニングジャーニー海外編は、自分やチームの意思に基づいて実施するため、参加しないという選択も可能)

※プログラム期間中に発生する交通費や通信費については、全て自己負担になりますのでご了承ください。

※最小遂行人数に達しなかった場合、開催を延期・中止させて頂く場合があります。

学びの新たな「カルチャー」をつくる。

✓ ツクルを学ぶ、ツクリながら学ぶ。

手触り感のない計画づくり、実感のない座学で終わる学びではなく、リアルな世界と関わる中で、また、つくったモノやコトを実際に市場や顧客に問いかけてみる中で、その経験をもとに理論や知識を確かな知恵として活用できる学びの場。そんな実践と学習を同時に展開する新しい学び (Learning by Doing) のカルチャーをつくります。

✓ Best Versionな自分。他者とインパクトを生み出せる自分へ。

自分の強みや個性を発見し、最大限に高められる学びの場、また、異なる強みや個性を持つ者同士がチームとなり、個人の力を超えたインパクトを生み出せる能力を培う場を育みます。そのために、個人ではなく、チームで学び合い、チームで生み出し合う (Team Learning) のカルチャーを築いていきます。

✓ 地球全土で自らの可能性を試して、広げる。

住む場所や働く場所が自由に選べるようになった今、自分が創造した価値を展開する場所だって、どんどんと自由になっていくはず。自分が生み出したものが最大限に価値を発揮するのはどこだろう？ 今いる場所を飛び出し、世界へ駆け出す中で、可能性を試せる場へとなっていきます。

Message & Appendix

最後に



生み出したい未来や世界を、あなたが創造し始めるその日に向け、座学や事業計画づくり、アイデアピッチ等を重ねることは、果たして確かな準備や経験なのでしょうか？

座学で学んでいることに実感が伴わない、つくっている計画に手触り感がない、そもそもどんな準備をしたり、経験を積み重ねていけばいいのかイメージが湧かない。

もしこのようなことを少しでも感じているとしたら、あなたが未来や世界をツクル人へとになっていくプロセスそのものである 774 は、あなたに新たな世界を見せることができるかもしれません。

一方で、世界では、これまで、また、これから訪れる社会変化を見据え、既存の枠にとらわれない新しい学びのカタチが生まれ、広がっています。

私たちとしても、ほんの少し先の未来でさえ変化率や不確実性がどんどん高まる今だからこそ、参加者の皆さんと共に、学習と実践を同時に進めるハイブリットなスタイルやカルチャーを見出し、育てていければ嬉しく思います。

このプログラムが、参加されるひとりひとりにとって、新たな自分の発見に繋がり、そして、自分以外の他者と共に、自分たちの手で、未来は創っていけるという確かな手応えを得られるものとなるように、私たちもキックオフの日まで全力で準備をして臨みます。

キックオフにお会いできること楽しみにしています。

774 コーディネーター＆事務局一同

【主催】 認定NPO法人ETIC.について

- ・ 団体名称：特定非営利活動法人エティック

- ・ 設立：1993年

- ・ 法人化：2000年3月

- ・ 理事 & 監事：

代表理事 宮城治男

理事 鈴木敦子（事務局長 兼任）

理事 山内幸治（事業統括ディレクター 兼任）

監事 樋口 哲郎 / 樋口公認会計士事務所 代表

- ・ スタッフ：124名（うち専従50名） ※2020年5月時点

- ・ 所在地：

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目19-19 恵比寿ビジネスタワー12階

